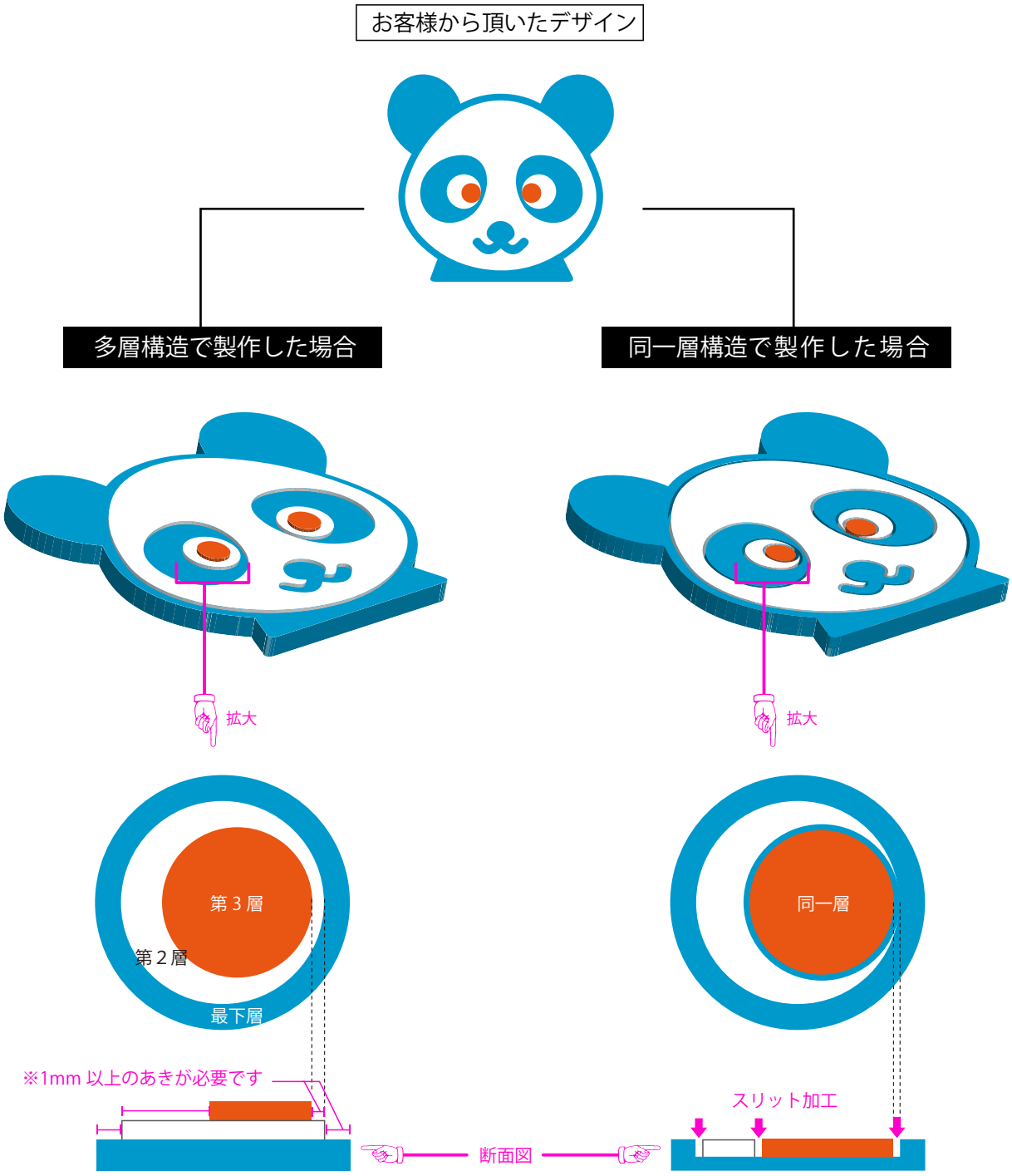
階層とスリットについて

ver_20130719_1

階層とは単純に建物の 1 階、2 階、3 階と同じとお考え下さい。製作の条件として、必ず最下層の上に第 2 層が乗り、第 2 層の上に第三層が乗ります。このとき、下にある層は上の層よりも必ず一回り大きくなる、ということをご留意ください。

スリットとは『同じ階層にある異なる色と色の間にある切れ込み線』となります。
製品は金型を製作し、そこに溶かした色つきのゴムを流し込んで作製します。このとき色のついたゴム同士が混ざらないようにするための防御壁の役割でスリットが必要になります。
以下は、お客様からお預かりしたデザインを各手法にて製作した場合、どのような制約があり、どのような修正が必要かを表したイメージ図になります。



※スリット（切れ込み線）より、下層の色が見えます。
※スリットとスリットの間隔は 0.3mm 以上必要です。

製品完成図内のスリット線幅に関して

製品完成図内の項目②完成品層構図で表現されているスリット幅は実際の製品に入るスリット幅と同等のサイズとなります。特に同一層加工にて作製される製品の場合、スリット幅のご確認には十分にご注意下さい。

また、製品完成図内ではスリット部分を明確に認識して頂くため、本来製品に使用されていない色を用いてデザインを作成しております。

下記は製品完成図項目②と実製品を比較した表です。

②完成品層構図　本図では層構造のみ確認して下さい、①のデザインとは異なる場合もあります。

製品完成図（データ）でみるスリット　　実製品でみるスリット　　拡大写真

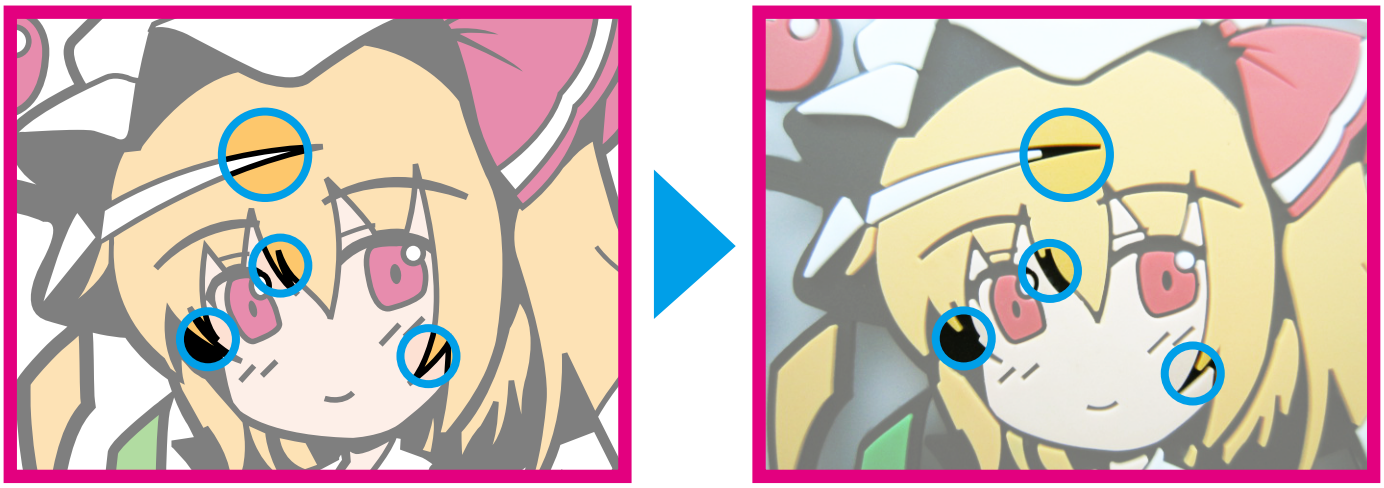
ラバー液の注入限度に関して

同一層にあるデザインの鋭角部には製品完成図と同じ様に先端まで色が入らない場合がございます。

金型（データ）を作製する上でこの部分を加味してご提案する事はできませんので、予めご了承下さい。

※デザインによってはある程度の予測の範囲内で事前にご相談させて頂く事はございます。

＜製品完成図（データ）＞　　＜実製品（写真）＞



上の図からご確認頂けますとおりデザイン上、細くて尖った部分の先端にはラバー液が入りきりませんのでご注意ください。

製品の色味について

お客様より「もう少し明るい緑」「ほんの少しだけピンクっぽい赤」「紺に近い深みのある青」など、色味のご指示を頂くことがございます。申し訳ございませんが、そのような色味指定での製作はお受けすることはできません。色味はPANTONE　U（パントーン）番号【461U、677U など】にてご指定をお願いします。色指定は必ず PANTONE 帳（PANTONE Solid uncoated）にてご確認頂いた PANTONE 番号にてご指定下さい、WEB サイトなどでご確認頂いた PANTONE 番号は PC のモニターやお部屋の明るさによって色の見え方が異なります。

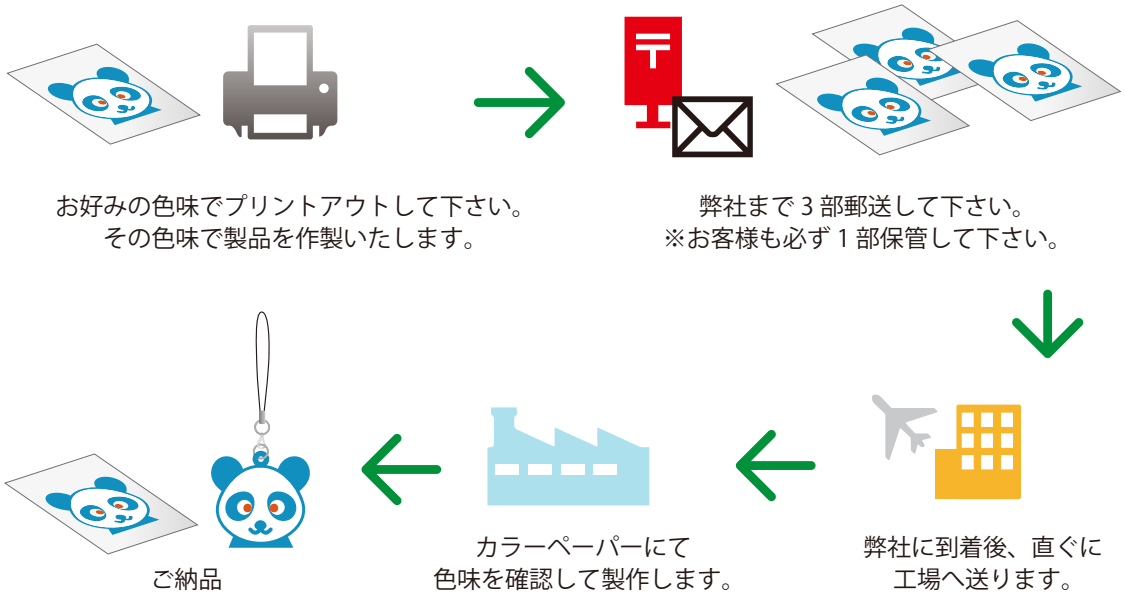
PANTONE 番号 (パントーン番号) とは？

PANTONE 番号はそれぞれの色に番号の付いた色見本台帳です。色見本帳にて色味を指定することで、お客様が意図した色と、実際に製作される製品の色味の誤差を限りなく無くす事ができます。

“PANTONE” 色見本帳から
色番号をえらぶ

PANTONE 番号でのご指定が困難な場合

PANTONE 番号での色味の指定が難しいお客様には製品完成図をご希望の色味で印刷して頂き、そのカラーペーパ―を弊社まで 3 部郵送にてお送り下さい。（お客様も同一の印刷物を必ず 1 部ご所持下さい）



多くのお客様は色味を弊社にておまかせで製作されていらっしゃいますが、特に色味のこだわりをお持ちで、また PANTONE 番号のご指定が困難なお客様には、
上記の方法をおすすめいたしております。但し、事前にご指定のないお客様に関しては製品納品後に色味関してご意見を頂戴することは出来かねますので予めご了承下さい。

色味を弊社おまかせで製作される場合

色のご指定のない場合は CMYK カラーで作製致しますが、CMYK カラーの色味はモニター、確認用のソフトウエア、日光や蛍光灯などの光の種別により、お客様の認識と大幅に異なることがございます。また、その結果生じるいかなる不具合に対しても、再作製は承ることが出来ませんので予めご了承下さい。尚、現在製品完成図（『④完成品に使用されている色一覧』）に入っております PANTONE 番号は弊社にて暫定的に付けている番号になります、このまま製作した場合は CMYK カラーで製作するものとお考え下さい。

ディスプレイで見る
“赤” 色の発色イメージ

色の作り方

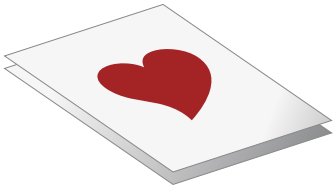
“R/G/B” の混色

ラバー製品での
“赤” 色の
発色イメージ

印刷物で見る
“赤” 色の発色イメージ

色の作り方

“C/M/Y/K” の混色



上記絵柄で表示しているハートの色は、それぞれの色の誤差を表現している絵柄でございます。RGB が薄く、CMYK が濃く、ラバー製品での発色がその中間色になるという意味ではございませんので、お間違いのないよう、ご注意下さい。

トレースを依頼されたお客様へ

※トレースを依頼されたお客様のみご確認ください。

画像の解像度が高く、マークやロゴ、イラストの形状が鮮明であるほど、イメージに近い状態にトレースができますが、元画像と 100%同じものは再現はできないものとお考え下さい。また、入稿いただいたデータの解像度が低く、画像が粗い場合、正確なトレースは難しくなります。また、輪郭線などはラバー製品を製作するうえでの諸条件に沿ってトレースしています。

お客様が入稿された
元画像

↓

弊社が
アドビイラストレーターで
トレースしたデータ

↓

出来上がった
製品イメージ